

番組審議会資料（第 19 回、令和 4 年 9 月 書面にて）

1 開催年月日：令和 4 年 9 月（委員のご意見は 10 月末日まで）

2 開催場所：今回も紙上にて

3 委員

委員総数 7 名

委員の氏名：足立盛二郎（元公益財団法人 日本棋院理事、

元ゆうちょ銀行取締役兼代表執行役会長・日本郵政取締役）、

兵頭俊夫（東京大学 名誉教授）、

野田慶人（日本大学 芸術学部 前学部長）

音 好宏（上智大学 文学部 新聞学科 教授）、

中村幸雄（オフィス・サンライズ 代表、

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 顧問、

元株式会社損害保険ジャパン 代表取締役専務・監査役）、

清水市代（将棋女流棋士／

公益社団法人日本将棋連盟 常務理事・女流棋士会 監事）

吉原由香里（囲碁棋士）

4 議題

- ・特別番組について
- ・レギュラー番組について
- ・生放送について
- ・新しい取り組みについて

5 議事の概要

(1) 特別番組について

「【囲碁】仲邑 薫二段 特別対局 3 vs レジェンド・大竹英雄名誉碁聖」

「【将棋】第 43 期女流王将 里見香奈の素顔」

(2) レギュラー番組について

「【将棋】将棋熱戦 徹底解説」

「【囲碁・将棋】竜星戦 AI ガイド・銀河戦 AI ガイド」

(3) 生放送について

「【囲碁】第 33 期 博多・カマチ杯 女流名人戦 挑戦手合三番勝負」

「【囲碁】第 27 回 LG 杯朝鮮日報棋王戦 2 回戦」

「【囲碁】第 1 回 テイケイ杯俊英戦 決勝三番勝負」

「【将棋】里見香奈女流五冠 棋士編入試験」

- (4) 編成について
 - 「【将棋】入門・初級講座 ※GW 一挙放送」
 - 「【将棋】藤井聡太 Day ※7/19 一挙放送」
- (5) 「新竜星戦」・「新銀河戦」について

6 詳細（各番組の内容）

(1) 特別番組について

「【囲碁】仲邑 堇二段 特別対局 3 vs レジェンド・大竹英雄名誉碁聖」

（初回放送：2022年8月28日）

視聴者人気の高い、英才枠入段の棋士・仲邑 堇(13)の特別対局第3弾。今回の対戦相手は、囲碁界で数々の歴史を作ってきた大竹英雄名誉碁聖(80)。

仲邑二段は、毎年様々な最年少記録を塗り替え、囲碁界に新たな歴史を刻み続けている。大竹名誉碁聖は、昨年惜しまれつつ現役を引退したが、これまで「大竹美学」と呼ばれる独自の棋風で「早碁の神様」とも称されたレジェンド棋士。年齢差は67。成長著しい仲邑二段がレジェンド棋士に挑んだ。

「【将棋】第43期女流王将 里見香奈の素顔」

（初回放送：2022年9月24日）

第43期女流王将戦を制した里見香奈女流王将の素顔に迫る特別番組。

里見女流は今年5月に古森悠太五段に勝ち、女性初のタイトル戦本戦出場と女性初のプロ編入試験受験資格を獲得した。当時、将棋界初の女性棋士誕生への期待・注目が高まる中、里見女流に密着し、その素顔に迫った。女流王将の素顔特番は今回で2回目(第1回：西山朋佳女流)。今後シリーズ化の予定。

(2) レギュラー番組について

「【将棋】将棋熱戦 徹底解説」

（初回放送：2022年4月～放送中）

棋譜解説番組「タイトル戦徹底解説」を4月にリニューアル。重要な局面を精査し、プロの一手をより深く掘り下げる内容に変更した。

ポイントとなった局面ではAIの示す候補手も紹介するなど、視聴者が様々な角度から「1手の重み」を認識できる形にした。

「【囲碁・将棋】竜星戦 AI ガイド・銀河戦 AI ガイド」

（初回放送：2021年9月～）

過去に放送した竜星戦・銀河戦を、再編集で新たにAI表示を加えてリニューアル。棋士達の駆け引きを、AIの評価値によって数値化し、ビジュアル的に際立たせるよ

うにした。今回は試験的な実施ではあるが、今後は視聴者からの意見を取りまとめ、改善を加えながら放送本数を増やしていく予定。

(3) 生放送について

「【囲碁】第33期 博多・カマチ杯 女流名人戦 挑戦手合三番勝負」

(初回放送：第1局 2022年4月14日、第2局 4月16日)

女流名人リーグ戦で、仲邑 堇二段が5勝1敗で優勝し挑戦権を獲得。史上最年少の女流タイトル挑戦とあって、急遽編成を変更し、挑戦手合の生中継を実施した。残念ながら仲邑二段は、藤沢里菜女流名人にストレート負けという結果だったが、最年少でのタイトル獲得の可能性もあったことから大きな注目を集めた。

「【囲碁】第27回 LG杯朝鮮日報棋王戦 2回戦」

(初回放送：2022年6月1日)

4ヶ国のトップ棋士(日本、中国、韓国、中華台北)が世界一を競う国際棋戦。日本勢では、芝野九段がベスト8進出を決めた。この1~2年、国際戦で井山裕太、一力遼、芝野虎丸、上野愛咲美らの若手が活躍。日本での囲碁人気は、国際戦での棋士の活躍とシンクロしていた時期もあり、囲碁界を盛り上げる意味も含め、芝野九段が出場する準々決勝(今秋)も生放送を実施予定。

「【囲碁】第1回 テイケイ杯俊英戦 決勝三番勝負」

(初回放送：第1局 2022年3月4日、第2局 4月2日)

チャンネルで高視聴率を獲得するのは対局番組で、生放送の数字が比較的良いという理由で、新たなコンテンツとして囲碁若手棋士の新棋戦(公式戦)を生放送で編成した。今回の生中継は、日本棋院との共同企画で成立。

今後も、日本棋院との共同企画コンテンツについては、生放送だけでなくイベントも含め番組化を進めていく予定。

「【将棋】里見香奈女流五冠 棋士編入試験」

(初回放送：第1局 2022年8月18日)

里見香奈女流五冠が、棋士編入試験の受験資格である「公式戦で10勝以上かつ勝率6割5分以上」の成績を収め、女性初の試験挑戦者となった。

8月から毎月1局行われる試験対局で、若手棋士5名と対局し、3勝すれば合格。将棋界初の女性棋士誕生なるか！見逃せない歴史的瞬間を生中継でお届けした。

※その後、第3局まで生放送するも、惜しくも合格ならず。

(4) 編成について

「【将棋】入門・初級講座 ※GW 一挙放送」

(初回日：2022年5月3日～7日)

将棋人気が高まる中、テストケースとしてゴールデンウィークの昼の時間帯で将棋入門者や「観る将ファン(将棋を指さないファン)」を対象に講座番組の一挙放送を実施。具体的には、駒の動かし方やマナーを知る講座、主な戦法を学び実際に指せるようになるまでの講座を放送した。スカパー！等の番組ガイド紙とも連携して番宣を行い、新規加入者獲得にもつなげることができた。

「【将棋】藤井聡太 Day ※7/19 一挙放送」

(初回日：2022年7月19日)

昨年から、藤井聡太竜王の誕生日・7月19日に「藤井聡太 Day」と銘打ち、藤井竜王関連の様々な番組を厳選し一挙放送を実施しているが、今年は、新たにタイトルを獲得した「王将戦」(対局番組)を中心に構成してお送りした。師匠・杉本昌隆八段とともにご出演いただいた特別インタビューでは、王将戦や現在の将棋に対する思いなどを語って頂いた。

(5) 「新竜星戦」・「新銀河戦」について

(放送期間：2021年10月～2022年5月(新銀河戦)、

2022年7月～放送中(新銀河戦))

囲碁プレミアムで先行放送している「新竜星戦」は、持ち時間が1分しかなく、今までにないスリリングな展開(慌しい)だが、視聴者からは好評の声を数多くいただいております。第2期は来年放送を予定している。

将棋の「新銀河戦」は今年7月から第1期の放送を開始し、来年5月に決勝三番勝負を放送する予定。

7 委員より届いたご意見ご感想(要約)

(兵頭委員)「仲邑 菫二段(当時) vs レジェンド特別対局シリーズ」は何時も楽しみだ。第3弾の「対レジェンド・大竹英雄名誉碁聖」も見応えがあった。決め手の割り込みには感動した。三段昇段を果たした仲邑三段の今後の活躍が楽しみ。次の「vs レジェンド」も期待している。

「竜星戦AIガイド」はAI評価値の表示が付いていることで、過去の対局の再放送を観戦する意欲がかき立てられる。AI評価値は、価値を理解しにくいプロの手堅い手の価値を認識できて、勉強になる。

(音委員)「仲邑 菫二段 特別対局3 vs レジェンド・大竹英雄名誉碁聖」での仲邑二段のインタビューや、「第43期女流王将 里見香奈の素顔」、また「藤井聡太

DAY」など棋士の生の声、素顔を見ることが出来た番組は、棋士たちを身近に感ずることになるのはもちろん、囲碁将棋に対する新たな気づきもあり、良かった。

対局中継を編成の中心にすえながらも、囲碁将棋の専門チャンネルとして、その新たな魅力を広げる新しい番組開発に積極的に取り組んでほしい。

(中村委員) 特別番組、新竜星戦、新銀河戦など興味深い内容で楽しく視聴した。

特別番組「第43期女流王将 里見香奈の素顔」は第1回西山朋佳女流に続いて今後シリーズ化の予定となっているとのこと。楽しみである。

将棋界も14歳の女流棋士が誕生し、20歳以下の女流も十数名となっている。若手女流棋士を対象としたトーナメントの企画なども面白いのではないか。

年齢条件や対象人数を考え、アマチュアのオープン参加も良いかもしれない。

以上